



「危機管理の4段階モデル」から考える 首都直下地震への対策

令和7年度 日本大学危機管理学研究所 公開講座

首都直下地震は、30年以内に、マグニチュード7程度の地震が70%程度の確率で発生すると予測されています。私たちは、いつ大規模地震が発生してもおかしくないリスクを抱えながら、日々生活をしているのです。現在の技術では地震の発生の詳細を正確に予測するのは困難です。そのため日常から大災害に備えた対策をして、いざという時には一人でも多くの命を救うことが求められます。

今回の講座では、アメリカの知事会が作成した危機管理モデルを用いながら、その方法について考えていきます。



講師 佐々木 一如 日本大学 危機管理学部 准教授

SASAKI KAZUYUKI

主催 日本大学危機管理学研究所

日時 7月20日(日) 15:00~16:30

参加費 無料 ※申込み不要・直接会場へお越しください

場所 日本大学三軒茶屋キャンパス 1405教室(1号館4階)

〈会場アクセス〉

東京都世田谷区下馬3丁目34-1

東急田園都市線・東急世田谷線 三軒茶屋駅より徒歩約10分

東急東横線・祐天寺駅から東急バス10分「日大前」下車すぐ

当日はオープンキャンパスを開催しています！
様々な企画をご用意しておりますので、ぜひご参加ください。

※ オープンキャンパスは来場予約が必要です(無料)
オープンキャンパスお申し込みはこちらから ⇒⇒⇒



 <https://www.youtube.com/@危機管理学部>

 @rmss_n.sancha

日本大学危機管理学研究所

お問い合わせ

 rmss.kenkyu@nihon-u.ac.jp

